

令和4年 消防統計

第44回防火防災ポスターコンクール

最優秀賞

【仙南地域広域行政事務組合理事長賞】



白石第二小学校 5年 ^{てるいあかね} 照井 緋寧 さん

令和5年刊行

仙南地域広域行政事務組合消防本部

目 次

【火災統計】

火災統計の概要	1
1. 月別火災発生状況	2
2. 市町別火災発生状況	3
3. 時間別火災発生状況	4
4. 曜日別火災発生状況	5
5. 原因別火災発生状況及び損害額	6
6. 過去10年間市町別火災発生状況と死者の推移	7

【救急統計】

救急統計の概要	8
1. 月別救急活動状況	9
2. 市町別救急活動状況	10
3. 市町別医療機関収容状況（搬送人員）	11
4. 市町別現場到着及び収容所要時間状況	12
5. 年齢区分別搬送状況	13
6. 傷病程度別搬送人員	14
7. 救急隊員の行った応急処置状況	15
8. 高速道路救急出動状況	16
9. 高速道路市町別出動状況	16
10. 応急手当講習会等の概要	17

【救助統計】

救助統計の概要	18
1. 月別救助出動・活動状況	19
2. 市町別救助出動・活動状況	20
3. 救出所要時間状況	21
4. 救助活動に使用した器具機材	21

【通信統計】

通信統計の概要	22
1. 総受信状況	23
2. 119番受付状況（災害種別）	23
3. 119番通報の固定電話と携帯電話別受付状況	24
4. 119番以外による災害受付状況	24
5. 消防テレホンサービス利用状況	24

火 災 統 計 の 概 要

1. 出 火 件 数

令和4年における出火件数は、66件で前年(78件) に比べて12件の減少となっている。
これを、月当たりの出火件数でみると平均 5.5 件となり、約 6 日に 1 件の割合で火災が発生したことになる。

この出火件数を火災種別ごとにみると、建物火災が 38 件と最も多く、全火災の 57.6%を占め、次いでその他の火災が 15 件 (22.7%)、車両火災が 7 件 (10.6%)、林野火災が 6 件 (9.1%) の順となっている。

また、月別にみると、3 月が 13 件と最も多く、次いで 4 月、12 月が各 10 件、1 月、5 月、11 月が各 5 件の順となっている。

2. 焼 損 程 度

焼損棟数は 79 棟で、前年 (91 棟) に比べて 12 棟の減少となっており、1 件当たりの建物火災で約 2.1 棟が焼損したことになる。

また、建物火災における焼損面積は 5,464 m²で、前年 (10,337 m²) に比べて 4,873 m²の減少となり、1 件当たりの焼損面積は 143.8 m²となる。

林野火災における焼損面積は 43 a で、前年 (42 a) に比べて 1 a の増加となっている。

3. 死者及び負傷者

火災による死者は 4 人で、前年 (7 人) に比べて 3 人の減少となっている。

負傷者については 9 人で、前年 (8 人) に比べて 1 人の増加となっている。

4. り災世帯数及びり災人員

り災世帯数は、30 世帯で前年 (51 世帯) と比べて 21 世帯の減少となっている。

り災人員は 81 人で、1 世帯当たり 2.7 人がり災している状況となっている。

5. 損 害 額

損害額は 327,538 千円で、前年 (514,327 千円) に比べて 186,786 千円の減少となっている。

種別ごとにみると、建物の損害が 318,264 千円と全体の 97.2%を占め、車両の損害が 4,474 千円 (1.3%)、林野の損害が 2,841 千円 (0.9%)、その他の損害が 1,959 千円 (0.6%) の順となっている。

6. 出 火 原 因

出火原因別でみると、たき火による火災が 6 件、たばこによる火災及びこんろによる火災が各 5 件、次いで電気機器による火災が 4 件、電気機器・装置による火災及び取灰による火災並びに放火による火災が各 3 件の順となっている。

1. 月別火災発生状況

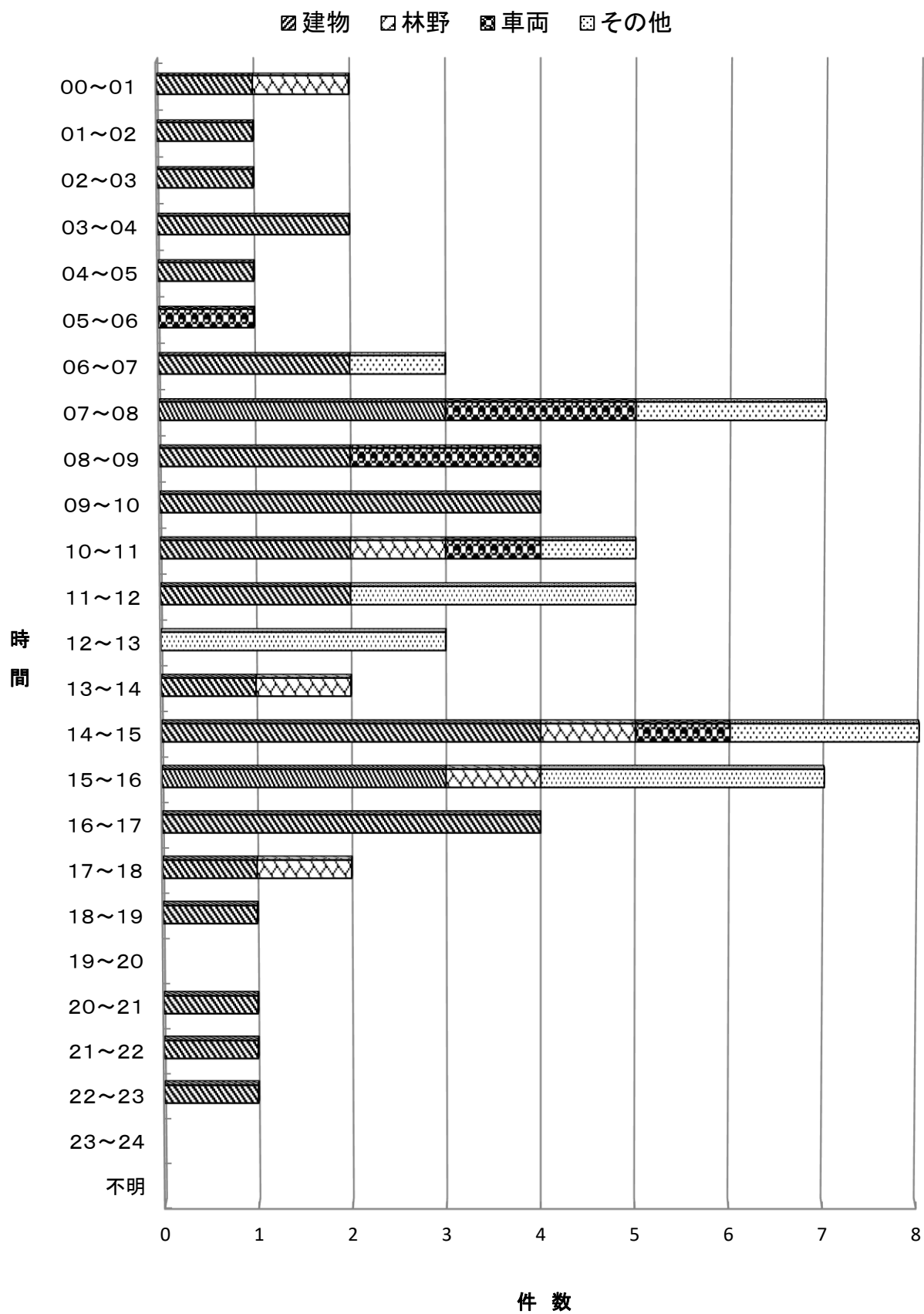
区分 月別	出火件数					焼損棟数					焼損面積		死者	負傷者	り災世帯数				り災人員	損害額（千円）							放水火災件数	放水台数		出動人員	
	計	建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物	林野			計	全損	半損	小損		計	建物	収容物	林野	車両	その他	爆発		消防署	消防団		署員 団員
											(㎡)	(a)																			
1月	5	3		2		5	1		3	1	307			2	3	1		2	13	43,259	40,860	2,186		213			5	7	3	74 75	
2月	3	1		1	1	1	1				113		1		1	1			2	5,238	4,290	921		16	11		2	5		34 37	
3月	13	4	2		7	9	6			3	458	25		1	3	1		2	7	16,519	13,565	1,526	1,312		116		9	15	4	159 189	
4月	10	6	1		3	14	7	1	4	2	1,529	14	1	1	4	3		1	6	41,664	32,924	6,801	1,519	180	240		8	20	15	202 347	
5月	5	3			2	6	5			1	493	1		1	3	2		1	8	26,042	25,340	700			2		3	5	5	67 134	
6月	2	1			1	1				1					1			1	1	3		3								20	
7月	4	4				9	3	1	3	2	131				3	1	1	1	7	20,795	11,220	9,569			6		3	6	1	75 70	
8月	3	3				7	2		3	2	361			2	4	1		3	18	46,765	46,152	586		2	25		1	4	5	48 37	
9月	4	3		1		3	1			2	35									839	80	209		550			2	5		29 16	
10月	2	1		1		1				1										105		5		100			1	1		26 8	
11月	5	2	2	1		3	1		2		437		1	2	1	1			3	15,857	10,282	1,482	10	2,583	1,500		3	6	3	63 61	
12月	10	7	1	1	1	20	14		4	2	1,600	3	1		7	3		4	16	110,452	76,716	32,847		830	59		7	20	11	147 233	
合計	66	38	6	7	15	79	41	2	19	17	5,464	43	4	9	30	14	1	15	81	327,538	261,429	56,835	2,841	4,474	1,959		44	94	47	944 1,207	
前年	78	36	5	14	23	91	46	3	29	13	10,337	42	7	8	51	24	1	26	128	514,327	413,701	95,015	673	4,555	383		57	138	53	1,167 1,707	

2. 市町別火災発生状況

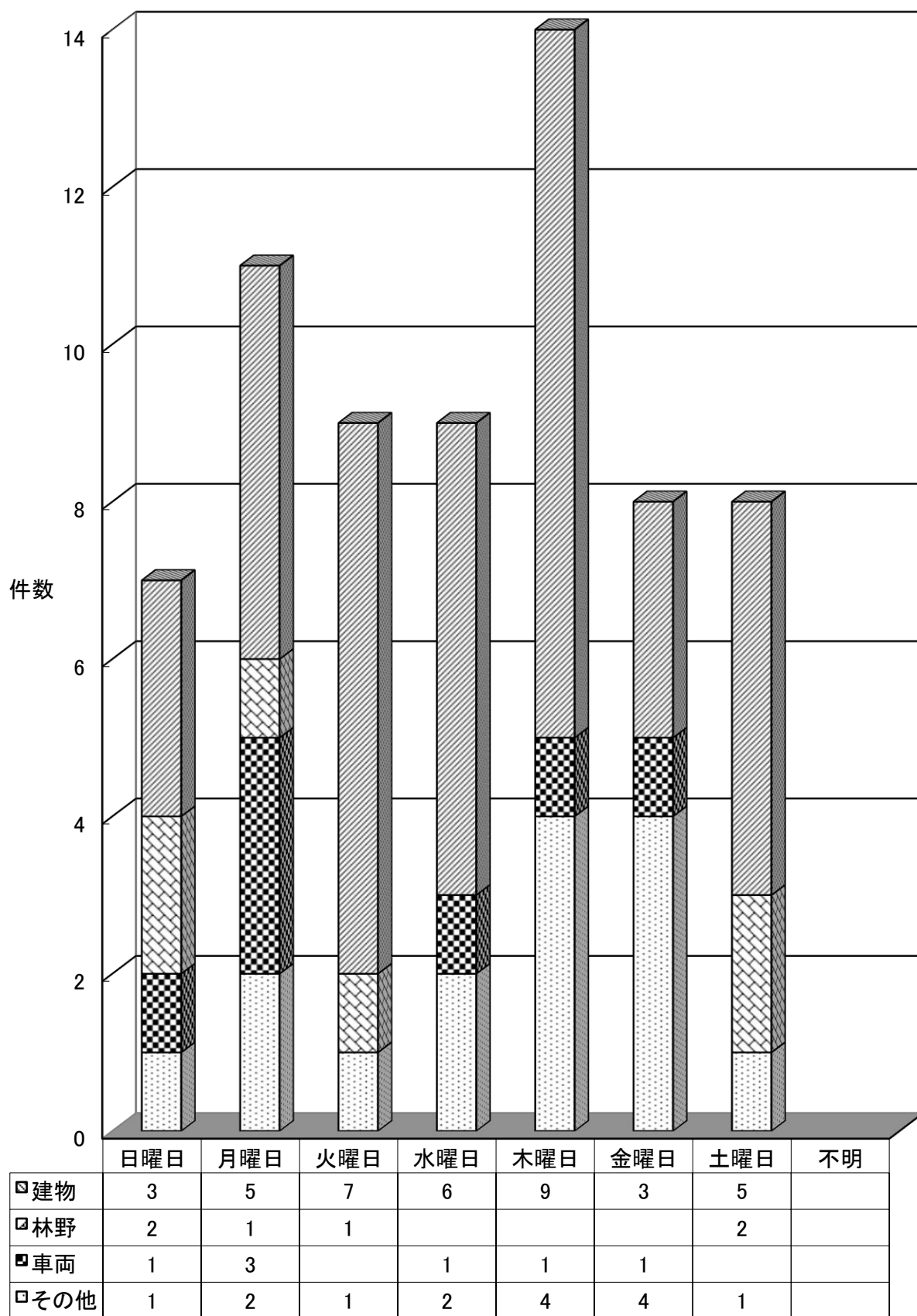
区分 市町別	出 火 件 数					焼 損 棟 数					焼 損 面 積		死 者	負 傷 者	り 災 世 帯 数				り 災 人 員	損 害 額（千円）							出 火 率 （件）
	計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	建 物	林 野			計	全 損	半 損	小 損		計	建 物		林 野	車 両	そ の 他	爆 発	
											(㎡)	(a)									建物	収容物					
白石市	7	4	1	1	1	5	2			3	329	3	2	1	3	2		1	4	27,472	27,046	399		16	11		2.2
角田市	15	9	1		5	32	21	1	9	1	2,572	10	1	3	13	7	1	5	45	198,073	182,781	14,272	342	352	326		5.5
蔵王町	8	5		2	1	8	4	1	1	2	837			1	3	2		1	9	21,406	16,418	979		2,450	1,559		7.1
七ヶ宿町	1	1				1			1						1			1	2	1,709	1,560	149					7.9
大河原町	4	4				4			1	3				1	3			3	6	22	5	17					1.7
村田町	9	4	1	3	1	7	5		1	1	518	1			3	2		1	6	49,881	20,319	29,419		143			8.8
柴田町	8	4	1	1	2	4				4		14			1			1	1	1,188		168	980	40			2.2
川崎町	5	3			2	7	2		3	2	547			1	1			1	3	10,849	1,983	8,866					6.0
丸森町	9	4	2		3	11	7		3	1	661	15	1	2	2	1		1	5	16,938	11,317	2,566	1,519	1,473	63		7.4
合計	66	38	6	7	15	79	41	2	19	17	5,464	43	4	9	30	14	1	15	81	327,538	261,429	56,835	2,841	4,474	1,959		4.0
前年	78	36	5	14	23	91	46	3	29	13	10,337	42	7	8	51	24	1	26	128	514,327	413,701	95,015	673	4,555	383		4.7

※出火率とは、人口1万人に対する火災発生件数(令和4年12月末の住民基本台帳より)

3. 時間別火災発生状況



4. 曜日別火災発生状況

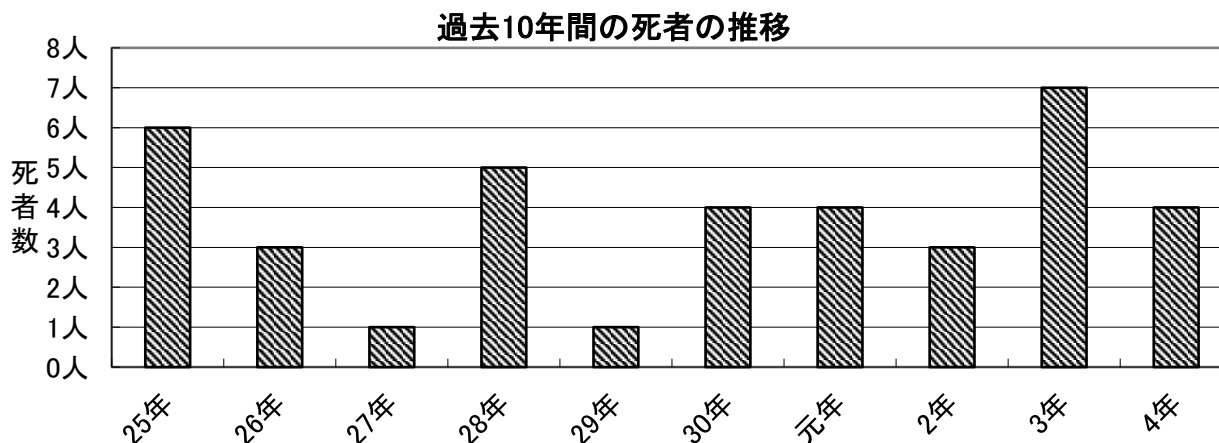
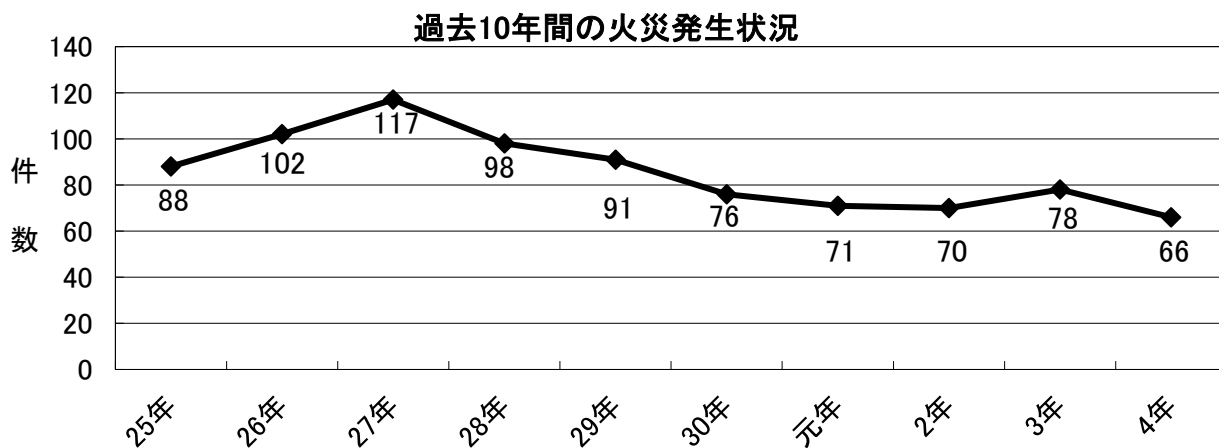


5. 原因別火災発生状況及び損害額

原因	令和4年		令和3年	
	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)
たき火	6	20,727	6	9,526
たばこ	5	31,126	7	1,574
こんろ	5	16,560		
電気機器	4	24	4	24,025
電気装置	3	29,366	1	162
取灰	3	10,520	2	0
放火	3	941	8	125,572
ストーブ	2	49,798	3	52,354
焼却炉	2	3,040	1	0
炉	2	551		
溶接機・切断機	2	42	1	173
マッチ・ライター	2	2	2	6
火入れ	2	0	3	0
放火の疑い	2	0	3	11
配線器具	1	46,763		
電灯・電話等の配線	1	2,873	6	79,236
排気管	1	550	6	1,235
衝突の火花	1	100		
火遊び	1	10		
風呂かまど	1	6	2	139
煙突・煙道			2	26,479
内燃機関			1	100
かまど				
こたつ				
ボイラー				
灯火				
その他	11	46,074	13	39,964
不明・調査中	6	68,465	7	153,771
合計	66	327,538	78	514,327

6. 過去10年間市町別火災発生状況と死者の推移

市町別	年別	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	合計
白石市	火災	17	25	24	20	12	21	17	13	11	7	167
	死者	1	1		1		3		1	1	2	10
角田市	火災	15	22	16	16	11	13	12	8	13	15	141
	死者							2		1	1	4
蔵王町	火災	10	11	30	13	11	7	6	8	15	8	119
	死者	2								1		3
七ヶ宿町	火災	4	1	1	1	3	1	1	2	1	1	16
	死者											
大河原町	火災	4	4	6	5	7	3	4	6	2	4	45
	死者			1			1	1				3
村田町	火災	5	13	12	16	15	8	6	11	11	9	106
	死者		2		3				1	1		7
柴田町	火災	12	8	10	9	10	9	8	10	11	8	95
	死者								1	1		2
川崎町	火災	9	11	14	11	13	7	8	3	9	5	90
	死者	1								1		2
丸森町	火災	12	7	4	7	9	7	9	9	5	9	78
	死者	2			1	1		1		1	1	7
合計	火災	88	102	117	98	91	76	71	70	78	66	857
	死者	6	3	1	5	1	4	4	3	7	4	38



救 急 統 計 の 概 要

1. 出動件数と搬送人員

令和4年の救急出動件数は、8,718件で前年(7,543件)に比べて1,175件(15.6%)の増加となり、搬送人員については、7,217人で前年(6,567人)に比べ650人(9.9%)の増加となっている。

事故種別の出動件数は、急病が5,802件と最も多く全体の66.6%を占め、次いで一般負傷1,079件(12.4%)、転院搬送1,010件(11.6%)、交通事故479件(5.5%)の順となっている。

2. 市町別出動件数及び搬送人員

市町別の出動件数及び搬送人員では、白石市が最も多く1,871件の出動で1,629人を搬送しており、次いで柴田町1,674件(1,274人)、角田市1,438件(1,212人)、大河原町1,231件(1,004人)の順となっている。

3. 覚知からの現場到着時間及び収容時間

覚知から現場到着までの所要時間をみると、10分～19分が4,106件と最も多く全体の47.1%を占め、次いで5分～9分3,483件(40%)、20分以上866件(9.9%)の順となっており、現場到着までの平均時間は12.0分で前年(11.4分)と比較し0.6分遅延している。

覚知から収容までの所要時間をみると、30分～59分が4,846件と全体の67.1%を占め、次いで60分～119分1,639件(22.7%)、20分～29分602件(8.3%)の順となっており、収容までの平均時間は50.6分で前年(47.3分)と比較し3.3分遅延している。

4. 救急隊員の応急処置状況等

救急隊員が応急処置を行った傷病者数は7,217人であり、応急処置総件数は29,223件で、傷病者1人に対し4種類以上の応急処置を行ったことになる。

その内容は、血中酸素飽和度測定7,016件、その他(体温測定等)6,947件、血圧測定6,881件の順となっており、心肺蘇生法を実施した件数は214件であった。

心肺機能停止だった傷病者のうち、医師引継ぎ時に心拍が再開し入院となった人が14人(前年12人)、1ヶ月後生存5人(前年3人)、社会復帰者は4人(前年2人)となっている。

また、救急救命士が医師の指示に基づき実施した救急救命処置の延べ数は310件となっている。

5. 高速自動車道における出動件数及び搬送人員

出動件数は49件で、東北自動車道35件、山形自動車道14件となっている。また、搬送人員は34人で、軽症17人、中等症14人、重症2人、死亡1人となっている。

1. 月別救急活動状況

月別	事故種別		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			一日平均
	区分	合計											転院搬送	医師搬送	その他	
1	出動件数	708	6			30	10	4	122	2	5	449	79	1		22.8
	搬送人員	610	2			21	8	4	108	1	5	383	78			19.7
2	出動件数	633	2			30	3	2	90	2	5	428	71			22.6
	搬送人員	539				18	3	1	71		5	370	71			19.3
3	出動件数	645	5	15	2	46	4	4	75	2	13	404	74	1		20.8
	搬送人員	540	1	12		36	2	2	62	1	6	344	74			17.4
4	出動件数	669	6		4	33	4	1	88	1	12	435	84		1	22.3
	搬送人員	561	1		2	28	4	1	72		4	365	84			18.7
5	出動件数	673	3			46	5	10	90		7	425	79	1	7	21.7
	搬送人員	563	1			43	4	9	72		3	352	79			18.2
6	出動件数	676				44	8	7	86	2	6	429	90		4	22.5
	搬送人員	589				38	7	7	74	1	3	369	90			19.6
7	出動件数	765	3			44	8	5	88	1	12	513	91			24.7
	搬送人員	660				41	8	5	68		6	441	91			21.3
8	出動件数	861	3		2	48	6	9	83	1	15	611	80		3	27.8
	搬送人員	664	1		1	42	5	11	65		8	454	77			21.4
9	出動件数	739	1			29	12	4	70	1	13	524	84	1		24.6
	搬送人員	600				21	12	4	57		8	415	83			20.0
10	出動件数	726	1		1	35	7	3	88	2	5	496	88			23.4
	搬送人員	606			1	28	7	3	72	2	2	403	88			19.5
11	出動件数	773	4			37	7	7	98		9	513	96		2	25.8
	搬送人員	615	2			33	5	6	79		2	392	96			20.5
12	出動件数	850	6		2	57	4	3	101	1	7	575	94			27.4
	搬送人員	670			1	46	4	2	78	1	4	440	94			21.6
合計	出動件数	8,718	40	15	11	479	78	59	1,079	15	109	5,802	1,010	4	17	23.8
	搬送人員	7,217	8	12	5	395	69	55	878	6	56	4,728	1,005			19.7
前年	出動件数	7,543	44	1	5	447	104	44	924	19	90	4,815	1,033	3	14	20.6
	搬送人員	6,567	7	1	2	373	93	41	793	12	55	4,162	1,026		2	17.9

2. 市町別救急活動状況

市町別 区分		白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	管轄外	合計	前年
事故種別 救急出動件数	火災	5	10	5	1	2	6	1	4	6		40	44
	自然災害	5	3				1	6				15	1
	水難	1		2		2	1	2	1	2		11	5
	交通事故	64	86	32	9	62	83	93	26	19	5	479	447
	労働災害	12	11	4		10	6	16	10	9		78	104
	運動競技	10	6	8		3	8	21	1	2		59	44
	一般負傷	215	177	99	16	141	68	213	52	97	1	1,079	924
	加害	4	2			4	1	2		2		15	19
	自損行為	16	19	6	3	23	5	26	6	5		109	90
	急病	1,262	957	474	56	737	330	1186	283	509	8	5,802	4,815
	その他の	転院搬送	274	165	37	14	243	24	104	73	76	1,010	1,033
		医師搬送	1					1	1	1		4	3
		その他	2	2	4		4		3	2		17	14
	計	1,871	1,438	671	99	1,231	533	1,674	459	728	14	8,718	7,543
事故種別 搬送人員	火災	1	2	1		1			1	2		8	7
	自然災害	5	2				1	4				12	1
	水難	1				2		1		1		5	2
	交通事故	59	67	23	7	54	70	76	19	16	4	395	373
	労働災害	11	9	4		8	5	16	7	9		69	93
	運動競技	10	5	6		3	8	21		2		55	41
	一般負傷	183	145	82	11	115	59	159	43	81		878	793
	加害	2	1							3		6	12
	自損行為	9	9	2	1	15	1	13	4	2		56	55
	急病	1,075	807	383	47	565	279	881	226	460	5	4,728	4,162
	その他	273	165	37	14	241	24	103	72	76		1,005	1,028
	計	1,629	1,212	538	80	1,004	447	1,274	372	652	9	7,217	6,567

3. 市町別医療機関収容状況(搬送人員)

発生市町別	収容先市町別	発生市町内病院等収容率	市町別収容医療機関																	広域圏外収容率	
	白石市		角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	仙台市	名取市	岩沼市	多賀城市	塩竈市	県北	亘理郡	福島県	山形県		
白石市	1,629	37.4%	609	3	1		822			1		89	21	17				2	64		11.8%
角田市	1,212	18.9%	56	229			767		9		22	64	8	49				5	3		10.6%
蔵王町	538	2.4%	176		13		302		1	8		22	4	9					2	1	7.1%
七ヶ宿町	80		32				28					3							5	12	25.0%
大河原町	1,004	62.8%	142	16	3		631		10	8	5	153	9	21			1	1		4	18.8%
村田町	447	1.6%	42				330	7	3	13		36	4	10					2		11.6%
柴田町	1,274	3.6%	102	10			879		46	2		76	26	129			1	1	2		18.4%
川崎町	372	25.3%	9				185		1	94		77	3							3	22.3%
丸森町	652	23.5%	18	21			366				153	31	6	15			1	8	33		14.4%
管轄外	9						2												4	3	77.8%
計	7,217		1,186	279	17		4,312	7	70	126	180	551	81	250			3	17	115	23	
搬送率		85.6%	16.4%	3.9%	0.24%		59.7%	0.10%	1.0%	1.7%	2.5%	7.6%	1.1%	3.5%			0.04%	0.24%	1.6%	0.32%	14.4%

4. 市町別現場到着及び収容所要時間状況

種別 市町別	覚 知 か ら 現 場 到 着							覚 知 か ら 収 容 時 間 (搬 送 人 員)							
	3 分 未 満	3～4 分	5～9 分	10～19 分	20 分 以 上	計	平均 時 分	10 分 未 満	10～19 分	20～29 分	30～59 分	60～119 分	120 分 以 上	計	平均 時 分
白 石 市	9	35	947	670	184	1,845	11.6	0	9	179	1,119	282	15	1,604	47.7
角 田 市	4	91	568	587	123	1,373	10.8	0	15	72	810	254	13	1,164	50.3
蔵 王 町	1	2	122	442	97	664	15.7	0	0	15	369	144	7	535	54.4
七ヶ宿町	0	10	47	32	10	99	12.1	0	0	1	18	57	4	80	77.4
大 河 原 町	5	27	541	664	62	1,299	10.6	0	9	162	725	163	6	1,065	44.4
村 田 町	1	12	202	227	32	474	11.7	0	0	18	287	85	8	398	48.4
柴 田 町	4	12	713	942	101	1,772	11.2	0	3	100	1,026	208	7	1,344	46.6
川 崎 町	4	4	171	207	76	462	14.4	0	3	24	205	131	11	374	61.7
丸 森 町	3	39	172	335	176	725	15.5	0	1	31	287	312	19	650	61.5
管 外	0	0	0	0	5	5	33.8	0	0	0	0	3	0	3	78.3
計	31	232	3,483	4,106	866	8,718	12.0	0	40	602	4,846	1,639	90	7,217	50.6

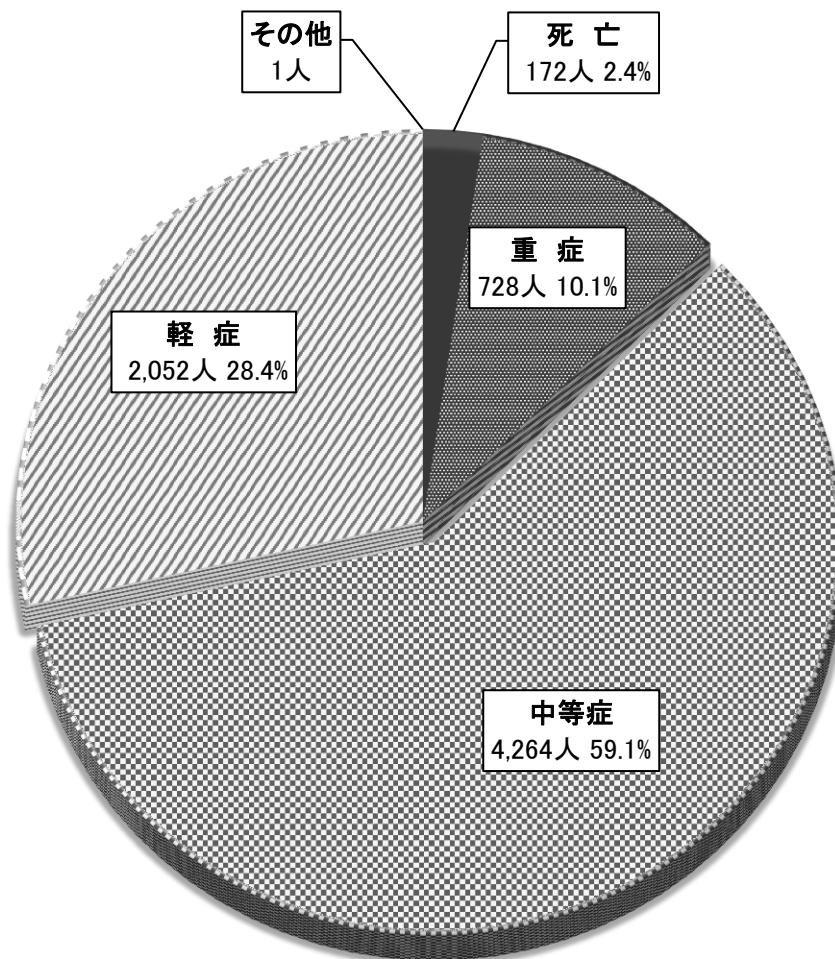
5. 年齢区分別搬送状況

種別 年齢	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 ・ そ の 他	合 計
新生児										2	3	5
乳幼児				9			26			128	15	178
7～17				28		37	23		7	96	12	203
18～24	2			48	4	9	13		10	105	10	201
25～34	1		1	50	10	2	21		8	146	17	256
35～44	1		1	30	9	2	24	1	7	184	32	291
45～54	1		1	56	12	2	40	1	9	291	60	473
55～64	1	3		51	18	3	75	2	5	379	85	622
65～74		1		58	13		134		5	851	201	1,263
75歳以上	2	8	2	65	3		522	2	5	2,546	570	3,725
合計	8	12	5	395	69	55	878	6	56	4,728	1,005	7,217
前年	7	1	2	373	93	41	793	12	55	4,162	1,028	6,567

6. 傷病程度別搬送人員

	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
死亡				20	152	172
重症	1	2	5	141	579	728
中等症	3	75	62	976	3,148	4,264
軽症	1	101	136	706	1,108	2,052
その他					1	1
合計	5	178	203	1,843	4,988	7,217

【参考】新生児：生後1カ月未満、乳幼児：生後1カ月～6歳、少年：7歳～17歳、
成人：18歳～64歳、高齢者：65歳以上



7. 救急隊員の行った応急処置状況

事故種別 応急処置種別	急 病	交 通 事 故	一 般 負 傷	そ の 他	計	前 年
応 急 処 置 対 象 人 員	4,728	395	878	1,216	7,217	6,567
止 血	20	27	89	19	155	197
固 定	18	125	97	60	300	307
人 工 呼 吸	13			2	15	15
胸 骨 圧 迫						
心 肺 蘇 生	191	6	8	9	214	201
うち自動心臓マッサージ	(105)	(2)	(6)	(6)	(119)	(115)
酸 素 吸 入	952	16	50	259	1,277	1,169
気 道 確 保	208	6	9	10	233	110
うち経鼻エアウェイ						
うち異物除去			(1)		(1)	(3)
うち食道閉鎖式	(72)		(2)	(2)	(76)	(74)
うち気管挿管	(2)		(1)	(1)	(4)	(6)
保 温	302	26	55	80	463	558
被 覆	17	58	163	39	277	282
在 宅 療 法 継 続	14		1		15	22
除 細 動	14	1	1		16	19
静脈路確保(CPA前)	55	1	5	2	63	82
静脈路確保(CPA後)	79	1	1	3	84	65
薬 剤 投 与 (アドレナリン)	46	2		3	51	35
薬 剤 投 与 (エピペン)			1		1	
薬 剤 投 与 (ブドウ糖溶液)	18				18	18
血 圧 測 定	4,456	386	848	1,191	6,881	6,259
心音呼吸音の聴取	564	78	75	87	804	868
血中酸素飽和度測定	4,549	388	870	1,209	7,016	6,363
血 糖 測 定	116	1	2	7	126	111
心電計による観察	3,162	109	299	697	4,267	3,975
うち心電図伝送	(269)			(53)	(322)	(334)
そ の 他	4,531	382	851	1,183	6,947	5,934
合 計	19,325	1,613	3,425	4,860	29,223	
前 年	17,081	1,530	3,066	4,913		26,590

※網掛け部分については、救急救命士が行うことが出来る救急救命処置

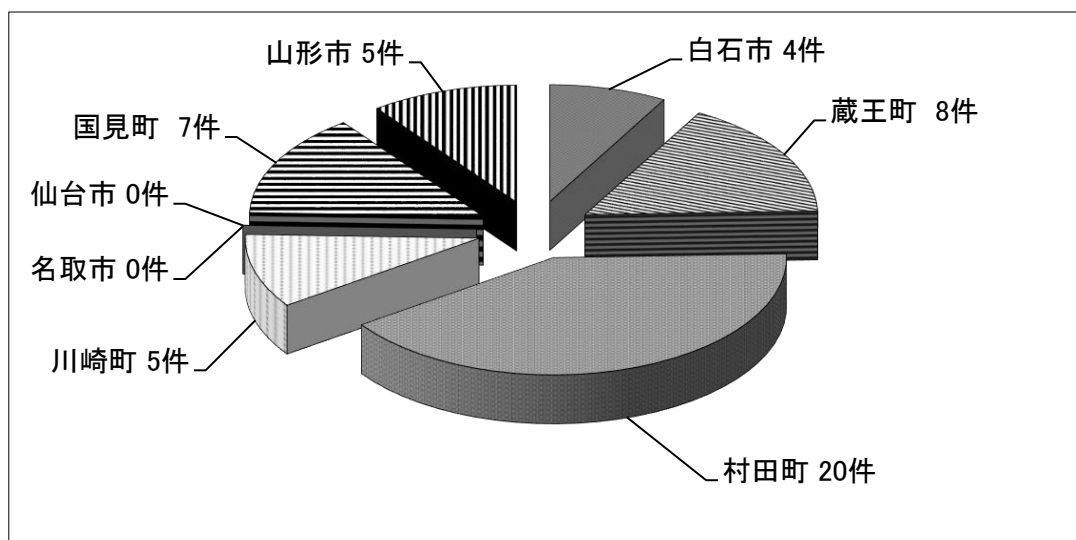
※()内は内訳

8. 高速道路救急出動状況

種別 月別	出 動 件 数							搬 送 人 員							傷病程度					性別	
	火 災	交 通 事 故	一 般 負 傷	急 病	自 損 行 為	そ の 他	計	火 災	交 通 事 故	一 般 負 傷	急 病	自 損 行 為	そ の 他	計	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	男	女
1	1	2		1			4		1		1			2			2			1	1
2		3		1			4		1		1			2			1	1		2	
3		4		1			5		2		1			3	1			2		3	
4		1		4			5		1		3			4		1	1	2		3	1
5				2			2				1			1			1			1	
6		3		4			7		3		4			7		1		6		5	2
7		1		1			2		1		1			2			1	1		2	
8		1		3			4		1		2			3			1	2		3	
9		3		2			5				2			2			1	1			2
10		1		2			3		1		1			2			1	1		2	
11	1	1		1			3		1		1			2			1	1		2	
12		3		2			5		4					4			4			4	
計	2	23		24			49		16		18			34	1	2	14	17		28	6
前年	6	30		19			55		28		11			39		3	15	21		30	9

9. 高速道路市町別出動状況

東北自動車道 35 件
山形自動車道 14 件



10. 応急手当講習会等の概要

令和4年における応急手当普及啓発活動状況は、普通救命講習会・上級救命講習会・
応急手当講習会等を実施し、延べ1, 965名が受講しました。

講 習 種 別	受講者数	講習回数	内 容
普通救命講習会 (3時間講習)	671名	69回	心肺蘇生法(主に成人対象)、AEDの使い方、異物除去法、大出血時の止血法等、救命手当てについて学びます。
上級救命講習会 (8時間講習)	42名	4回	普通救命講習の内容に加えて、小児・乳児の心肺蘇生、傷病者管理、外傷の応急手当、搬送法等を学びます。
救命入門コース (1.5時間講習)	76名	6回	小学校高学年から中学生の方、これから普通救命講習を受講される方等を対象とした、胸骨圧迫やAEDの使い方を中心に学ぶコースです。
応急手当普及員講習会 (教員向け…2日間講習) (一般向け…3日間講習)	22名	2回	学校や事業所等で応急手当を普及していただける方を養成するための講習です。講習修了者には普及員認定証が交付されます。(隔年実施)
応急手当普及員再講習会 (3時間講習)	29名	4回	前回の応急手当普及員講習受講日から3年以内に再度受講する方のための講習です。
応急手当講習会 (3時間未満講習)	1, 125名	74回	救急講話や外傷の処置など、時間や内容について受講者の希望に沿った形で開催します。
合 計	1, 965名	159回	

救 助 統 計 の 概 要

1. 出動件数・活動件数・救助人員

令和4年の救助出動件数は、124件で前年(91件)に比べて33件の増加となり、救助活動を行った件数は、69件で前年(45件)に比べて24件の増加となっている。

また、救助人員は76人で、前年(49人)に比べて27人の増加となっている。

事故種別ごとにみると、交通事故61件（活動29件・救助人員34人）で最も多く、次いでその他の事故30件（活動18件・救助人員19人）、建物等による事故22件（活動12件・救助人員13人）、水難事故9件（活動8件・救助人員8人）、機械等による事故2件（活動2件・救助人員2人）の順となっている。

2. 市町別救助出動件数及び救助人員

市町別の救助出動件数及び救助人員では、柴田町が最も多く 23 件の出動で 18 人を救助しており、次いで角田市 21 件（12 人）、白石市 19 件（11 人）、大河原町 19 件（8 人）の順となっている。

3. 救出所要時間

現場に到着してから救出にかかった所要時間をみると、10分未満が32件で最も多く、次いで30～59分が13件、10～19分が12件、20～29分が6件、60～119分が6件の順となっている。

1. 月別救助出動 ・ 活動状況

区分 月別	事故種別出動 ・ 活動件数 ()内は活動件数										事故種別救助人員									
	火災	交通事故	水難事故	風自然 水害災害	よ機 械事 故に	よ建 物事 故に	酸ガ ス事 及故 び	爆 発事 故	そ の 故 他 の	計	火災	交通事故	水難事故	風自然 水害災害	よ機 械事 故に	よ建 物事 故に	酸ガ ス事 及故 び	爆 発事 故	そ の 故 他 の	計
1		(2) 7			(1) 1	1				(3) 9		2			1					3
2		6				(3) 3			(1) 1	(4) 10						3			1	4
3		(6) 7	(1) 1			(2) 4			(3) 4	(12) 16		7	1			2			3	13
4		(2) 3	(2) 3						(2) 4	(6) 10		2	2						2	6
5		(3) 4				1			(5) 7	(8) 12		3							5	8
6		(4) 5							(2) 4	(6) 9		4							2	6
7		3							(1) 2	(1) 5									1	1
8		(5) 7	(3) 3			1			(1) 2	(9) 13		6	3						1	10
9		(1) 3							(3) 5	(4) 8		1							4	5
10		(1) 4	(1) 1		(1) 1	(2) 3				(5) 9		1	1		1	2				5
11		2				(2) 4			1	(2) 7						2				2
12		(5) 10	(1) 1			(3) 5				(9) 16		8	1			4				13
合計		(29) 61	(8) 9		(2) 2	(12) 22			(18) 30	(69) 124		34	8		2	13			19	76
前年		(26) 48	(1) 5		(1) 2	(5) 14	1		(12) 21	(45) 91		30	1		1	5			12	49

2. 市町別救助出動 ・ 活動状況

区分 市町別	事故種別出動 ・ 活動件数 ()内は活動件数										事故種別救助人員									
	火災	交通事故	水難事故	風自然災害等	よ機械等事故に	よ建物等事故に	酸ガス事及び	爆発事故	その他の事故	計	火災	交通事故	水難事故	風自然災害等	よ機械等事故に	よ建物等事故に	酸ガス事及び	爆発事故	その他の事故	計
白石市		(5) 8	(1) 1			(3) 6			(2) 4	(11) 19		5	1			3			2	11
角田市		(5) 15				(1) 2			(3) 4	(9) 21		8				1			3	12
蔵王町		(3) 4	(1) 2		(1) 1				(2) 3	(7) 10		4	1		1				2	8
七ヶ宿町		(1) 2							1	(1) 3		1								1
大河原町		(3) 9	(2) 2			(2) 6			(1) 2	(8) 19		3	2			2			1	8
村田町		(5) 8	(1) 1							(6) 10		5	1							6
柴田町		(2) 5	(2) 2			(6) 7			(6) 9	(16) 23		2	2			7			7	18
川崎町		(3) 6	(1) 1		(1) 1				(4) 7	(9) 15		4	1		1				4	10
丸森町		(2) 4								(2) 4		2								2
管外																				
合計		(29) 61	(8) 9		(2) 2	(12) 22			(18) 30	(69) 124		34	8		2	13			19	76
前年		(26) 48	(1) 5		(1) 2	(5) 14	1		(12) 21	(45) 91		30	1		1	5			12	49

3. 救出所要時間状況

時間 事故種別	救 出 に 要 し た 時 間 別 件 数						
	10分未満	10～19分	20～29分	30～59分	60～119分	120分以上	計
火 災							
交通事故	17	5	2	2	3		29
水難事故	3	2		1	2		8
自然災害							
機械事故				2			2
建物事故	5	2	2	3			12
ガス酸欠							
爆発事故							
そ の 他	7	3	2	5	1		18
合計	32	12	6	13	6		69

4. 救助活動に使用した器具機材

使用器具機材	車載クレーン	車載ウインチ	可搬ウインチ	ワイヤー	大型油圧機	バックボード	舟形担架・平担架	ガラス切断機	空気切断機	空気拡張機	保護材・あて木	万能斧	鉄線カッター	レスキューナイフ	救命ふかト	救命ボート	救命用胴衣	救助用光器	救助ロープ各種	カラビナ・滑車	縛り帯等	各種梯子	空気の呼吸器	その他
使用回数			2	2	3	13	5	4	2		5	1	1		1	1	4	5	8	6	1	7		8

通 信 統 計 の 概 要

1. 総受信状況

令和4年の受付総数は、12,463件で前年（11,175件）に比べて1,288件増加となり、内訳は119番通報による受付が11,001件（88.3%）と最も多くなっている。次いで、加入電話による受付が553件（4.4%）と続いており、一日あたりの受付件数については34.1件となっている。

2. 119番受付状況（災害種別）

119番受付件数は、11,001件で前年（10,018件）に比べて983件増加となり、災害種別ごとにみると、救急が8,348件（75.8%）と最も多くなり、次いでその他の災害が183件（1.6%）、火災が131件（1.1%）の順となっている。

3. 119番通報の固定電話と携帯電話別受付状況

119番受付件数の電話種別ごとにみると、固定電話のうち、NTT加入電話による通報が2,830件で前年（2,910件）に比べて80件減少となり、IP電話による通報が3,153件で前年（2,881件）に比べて272件増加となっている。

携帯電話による通報は、5,018件で前年（4,227件）に比べて791件増加となっている。

※ IP電話とは、インターネット技術を利用した回線の電話である。

4. 119番以外による災害受付状況

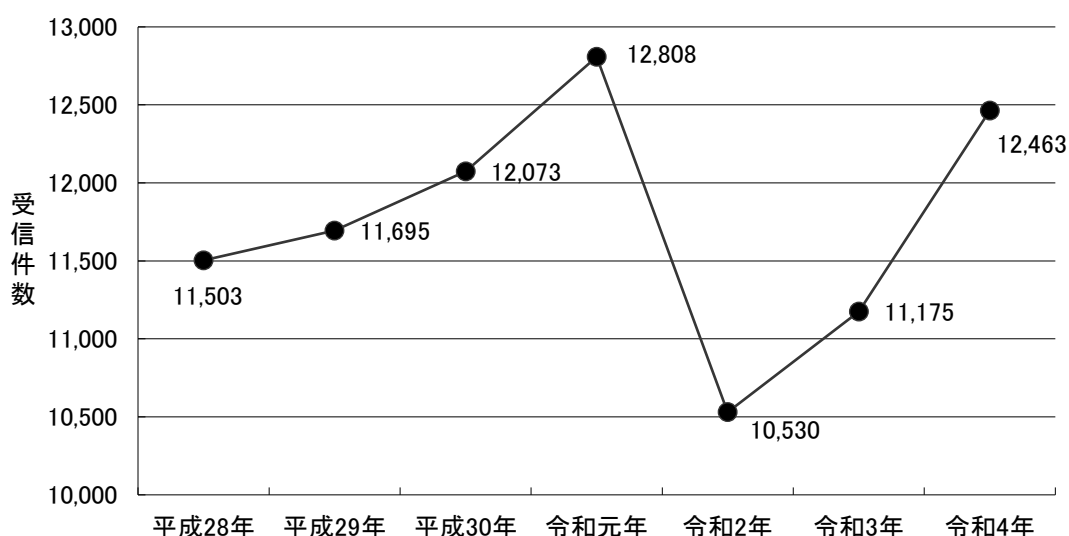
119番通報以外による災害受付件数は、1,211件で前年（991件）に比べて220件増加となっている。入電種別ごとにみると、最寄りの消防署へ直接電話をする加入電話が506件と全体の41.8%となり、次いで直接消防署へ駆け付けての通報が36件（3.0%）、自己覚知が22件（1.8%）の順となっている。

5. 消防テレホンサービス利用状況

消防テレホンサービスの利用状況については、180,667回で前年（177,052件）より3,615回増加となっており、その内のIP・携帯電話利用数が172,958回で95.7%を占めている。

1. 総受信状況

区分 \ 年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	構成比 (%)
119番通報	10,139	10,132	10,364	10,904	9,345	10,018	11,001	88.27%
加入電話	518	524	446	500	408	447	553	4.44%
警察電話	17	22	16	16	8	2	9	0.07%
NEXCO専用線	27	27	17	19	7	20	13	0.10%
自己覚知	76	56	52	53	27	17	21	0.17%
駆け付け	46	48	53	48	58	44	36	0.29%
その他	680	886	1,125	1,268	677	627	830	6.66%
合計	11,503	11,695	12,073	12,808	10,530	11,175	12,463	
1日平均	31.4	32.0	33.1	35.1	28.8	30.6	34.15	



2. 119番受付状況(災害種別)

区分 \ 年		令和2年		令和3年		令和4年		前年比 (件)
		件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	
災害	火災	148	1.6%	195	1.9%	131	1.19%	-64
	救急	6,893	73.8%	7,265	72.5%	8,348	75.88%	1,083
	その他の災害	169	1.8%	180	1.8%	183	1.66%	3
災害以外	問い合わせ	225	2.4%	256	2.6%	319	2.90%	63
	間違い	340	3.6%	409	4.1%	361	3.28%	-48
	いたずら	47	0.5%	101	1.0%	40	0.36%	-61
	通報訓練	879	9.4%	964	9.6%	924	8.40%	-40
	回線試験	98	1.0%	162	1.6%	139	1.26%	-23
	その他	546	5.8%	486	4.9%	556	5.05%	70
合計		9,345		10,018		11,001		983

3. 119番年間受付状況(固定電話と携帯電話別)

		令和2年		令和3年		令和4年	
		件数	比率	件数	比率	件数	比率
固定	NTT	2,916	31.2%	2,910	29.0%	2,830	25.7%
	IP	2,754	29.5%	2,881	28.8%	3,153	28.7%
携 帯		3,675	39.3%	4,227	42.2%	5,018	45.6%
合 計		9,345		10,018		11,001	

※IP電話：
インターネットプロ
トコル技術を利用して
提供される音声通話
サービス(NTTひかり
電話を含む)。

令和2年	固定 (NTT), 31.2%	固定 (IP), 29.5%	携帯電話, 39.3%
令和3年	固定 (NTT), 29.0%	固定 (IP), 28.8%	携帯電話, 42.2%
令和4年	固定 (NTT), 25.7%	固定 (IP), 28.7%	携帯電話, 45.6%

4. 119番以外による災害受付状況

	火災		救急		その他の災害		計	
	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4
加入電話	8	8	275	344	137	154	420	506
警察電話			1	4	1	5	2	9
NEXCO 専用線	3	2	12	9	4	2	19	13
駆け付け	1		38	32	5	4	44	36
自己覚知		2	15	15	1	5	16	22
その他	9	7	106	130	375	488	490	625
計	21	19	447	534	523	658	991	1,211

5. 消防テレホンサービス利用状況

	令和2年	令和3年	令和4年	
固定電話	9,497	8,749	7,709	4.3%
IP・携帯電話	164,169	168,303	172,958	95.7%
計	173,666	177,052	180,667	

仙南消防本部消防テレホンサービス
TEL0180-992-123